

2024年度 環境経営レポート

(対象期間2023年9月1日～2024年8月31)



2024年11月26日発行
(改訂日 2025年3月20日)
株式会社 モリシマ

環境経営方針

【基本理念】

当社は、愛知県でメッキ加工を行っている事業所です。電子部品へのメッキ加工を主力製品として、高度なメッキ加工技術と環境規制への対応を両立させ、品質面や環境面で安心・安全な製品作りを目指すと同時に、工場周辺における環境保全を常に意識し、地域に密着し地域の発展、活性化を目指し、環境経営を継続的に改善して、資源循環型社会の構築に貢献します。

【行動指針】

1. 地球環境保護のため、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進する。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 廃棄物の排出削減及びリサイクル
 - 3) 水使用量の削減
2. 環境関連の法律とその他の環境関連要求事項を遵守する。
3. 備品購入の際、グリーン購入の推奨する。
4. 環境配慮生産と製品の提供を推進する。
5. 有害化学物質の適正管理を促進する。
6. 環境保全の教育を全社員に行い、環境意識を高める。
7. 環境レポートを社内・外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にする。

制定日2009年9月30日

改定日2020年3月30日

株式会社 モリシマ

代表取締役

森島秀保

組織の概要

事業所名及び代表者名

株式会社 モリシマ

代表取締役 森島 秀保

所在地

本社工場：愛知県犬山市大字犬山字西古券574

TEL:0568-6-1317 FAX:0568-61-2428

第二工場：愛知県犬山市大字犬山字四日市36-1

環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：森島 秀保

EA21事務局担当者：細田 美由紀

同上 連絡先：TEL:0568-61-1317 FAX:0568-61-2428

E-mail:ets-morishima@md.ccnw.ne.jp

事業活動内容

メッキ加工業：装飾・電子部品メッキ加工

[クロームメッキ、ニッケルメッキ、スルファミン酸ニッケルメッキ、銅メッキ、その他]

電子部品検査：第二工場検査部門

事業規模

活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	120.9	89.1	88.9	121.3	111.8	117.4	110.1
総従業員数	人	30	25	25	28	29	28	28
延べ床面積	m ²	1122.4	1122.4	1122.4	1122.4	1122.4	1122.4	1122.4

事業年度

9月～翌年8月

対象範囲、レポート対象期間及び発行

登録範囲

対象組織：全組織（本社・工場、第二工場）

対象活動：全活動（装飾・電子部品メッキ加工、電子部品検査）

対象期間

2023年9月1日～2024年8月31日（2024年度）

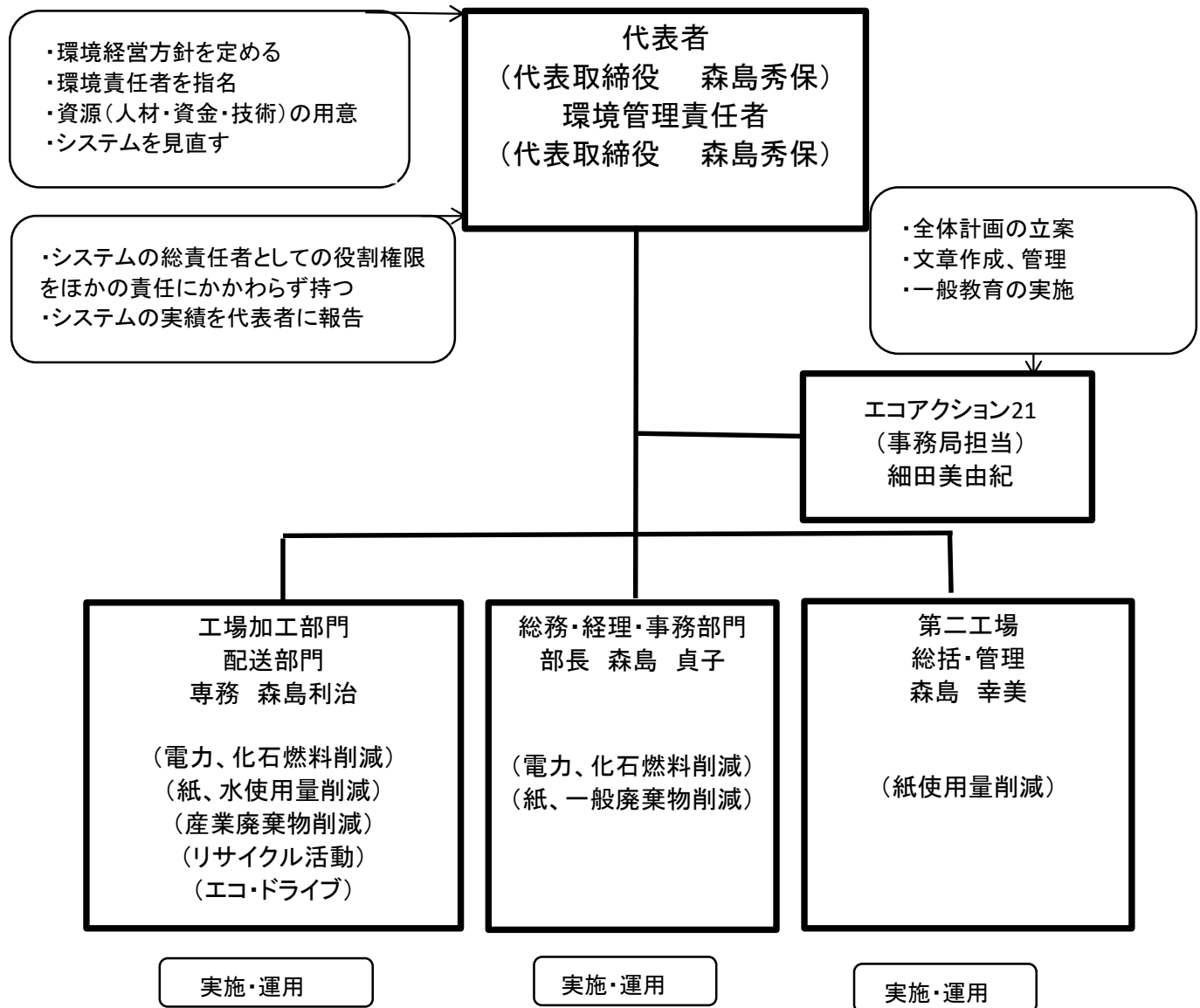
発行日

2024年11月26日

組織図及び実施体制

総人数 28名

作成日・作成者2020年10月20日 細田美由紀



〈注記〉

※カッコ内は、エコアクション21の役割分担を示す。

※エコアクション21の活動実施・運用の進捗状況は、「部長等の管理職」が確認し報告する。

※毒物・劇物取扱責任者 森島利治

※水質関係第二種 公害防止管理者 森島輝秋

環境経営目標

作成日・作成者2022年10月20日 細田美由紀

目標は、2018年度の実績を基準としています。

	単位	基準年(2018年)	2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
二酸化炭素排出量	kg-co2	257029	5%	244178	6%	241607	7%	239037	8%	236467
購入電力量	kWh	245686	5%	233402	6%	230945	7%	228488	8%	226031
灯油	ℓ	2262	5%	2149	6%	2126	7%	2104	8%	2081
A重油	ℓ	43919	5%	41723	6%	41284	7%	40845	8%	40405
ガソリン使用量	ℓ	4606	5%	4376	6%	4330	7%	4284	8%	4238
軽油	ℓ	3588	5%	3409	6%	3373	7%	3337	8%	3301
廃棄物排出量	kg	15352	5%	14584	6%	14431	7%	14277	8%	14124
水使用量	m³	4886	5%	4642	6%	4593	7%	4544	8%	4495
グリーン購入	—	購入促進	購入促進		購入促進		購入促進		購入促進	
環境配慮生産・製品	件	2件	2件		2件		2件		2件	
有害物質の適正管理	—	適正管理	適正管理		適正管理		適正管理		適正管理	
地域貢献活動	—	積極的参加	積極的参加		積極的参加		積極的参加		積極的参加	

電気使用量のCO2排出係数は2018年度中部電力の排出係数0.452kg-CO2/kWhを使用する。

廃棄物排出量は一般廃棄物等と産業廃棄物を合計したものである。

環境経営計画及び次年度計画

実施期間2024年度(2023年9月～2024年8月)

作成日・作成者2024年9月13日 細田美由紀

No.	環境活動の具体的な取り組み項目	主要担当部署・責任者	状況 中間評	状況 評価	次年度 継続
1	二酸化炭素排出量の低減(電力量、化石燃料)				
1)	電力量削減の具体的な取り組み項目	総務・経理・事務部門 第二工場 責任者: 今井宏明			
	① エアコンの設定温度を、冬20℃に設定		○	○	継続
	② クールビズ・ウォームビズを推奨		○	○	継続
	③ OA機器・パソコン等で使用していない時の電源OFF		○	○	継続
	④ 昼休みの消灯、不要な照明設備の見直し		○	○	継続
	⑤ パソコン使用後10分ディスプレイの電源OFFの設定		○	○	継続
	⑥ デマンド装置を設置し電気量をおさえる。		○	○	継続
	⑦ カレンダータイマー使用による自動ON/OFF		○	○	継続
	⑧ エアコンのフィルターの清掃実施		○	○	継続
	⑨ 乾燥機の温度設定をする。		○	○	継続
2)	全車両について、エコドライブを周知し、ガソリン・軽油の燃料改善	工場加工部門 配送部門 責任者: 森島利治			
	① 不必要なアイドリングの禁止		○	○	継続
	② 急発進・急加速・急停止の禁止(4つの急)		○	○	継続
	③ 早めのシフトアップ、エンジンプレーキの積極使用		○	○	継続
	④ エアコンを控えめに、作業中のエアコンOFF		○	○	継続
	⑤ 計画的な運行ルートで行動し、忘れ物を無くす。		○	○	継続
	⑥ 不要な荷物を降ろし、タイヤの空気圧が適正かチェックする。		○	○	継続
3)	効率の良い省エネ型設備・機器類の導入	総務・経理・事務部門 責任者: 細田美由紀			
	① 設備・機器類の導入		○	○	継続
	② 買い替え時期に低排気・低公害車両やエコカーの導入を検討する。		○	○	継続
4)	熱処理作業の管理	工場加工部門 責任者: 森島秀保			
	① ボイラーの熱処理30分前にボイラーをOFFにする。		○	○	継続
	② 作業関連設備最終使用時に電源をOFFにする。		○	○	継続
	③ 後処理洗浄スチームの立上げ時間を遅くする。		○	○	継続
	④ ボイラーを起動時2台から温度上昇時1台に切り替える。		○	○	継続
	⑤ バブルが漏れていないか確認する。		○	○	継続
	⑥ コンプレッサーの圧力設定による電力削減		○	○	継続
	⑦ 重油の蒸気配管の取り替えと配管設備周りの保温徹底。		○	○	継続
2	廃棄物排出量削減及びリサイクル				
1)	産業廃棄物のリサイクル	総務・経理・事務部門 責任者: 細田美由紀			
	① 産業廃棄物でリサイクルできる業者検討		○	○	継続
2)	廃棄物排出量の削減	総務・経理・事務部門 責任者: 細田美由紀			
	① コピー用紙の両面使用		○	○	継続
	② 業務連絡に電子メール・電子FAXを利用し、ペーパーレス化に努める。		○	○	継続
3)	リサイクル推進	総務・経理・事務部門 責任者: 細田美由紀			
	① 封筒・段ボール・新聞紙等の紙類のリサイクル		○	○	継続
	② FAX購入(裏紙使用のもの)		—	—	購入済み
3	水使用量				

1)	水関連作業の水の削減 ① 湯洗浄の水の削減 ③ 工場の水の再生利用 ④ 水関連設備使用時に電源をOFFにする	工場加工部門 責任者:細田美由紀			
			○	○	継続
			○	○	継続
			○	○	継続
2)	洗車・清掃用水の節約 ① 節水ごまの設置の徹底	全社員 責任者:細田美由紀			
			—	—	設置済み
3)	排水管箇所の水漏れ点検を実施し、利用時の蛇口開放時間に留意する。	全社員 責任者:細田美由紀	○	○	継続
4	グリーン購入調査				
1)	① 事務用品のグリーン購入 ② 資材部材のグリーン購入(選択の余地がない)	事務部門 工場加工部門 責任者:森島幸美	○	○	継続
			—	—	継続
5	環境配慮生産、製品調査				
1)	① 不具合品の削減 ② 不良品再生作業(剥離後再生メッキ) ③ 落下防止対策。梱包方法の取組。 ④ ホームページでメッキ製品の市場開拓・発信 ⑤ ホワイトボードに3週間の予定表を作る。(新規)	事務部門 工場加工部門 責任者:森島幸美	○	○	継続
			○	○	継続
			○	○	継続
			○	○	継続
			○	○	継続
6	有害科学物質への適正管理				
1)	① SDSの整備 ② 入出荷等帳票類の整備	総務 責任者:細田美由紀	○	○	継続
			○	○	継続
7	地域貢献活動				
1)	地域貢献活動 ① 地域コミュニティーでの草取り・清掃活動に参加・協力する。 ② 地域ボランティア活動に積極的に参加する。	全社員 責任者:森島幸美			
			○	○	継続
			○	○	継続

環境経営目標の実績

No.	項目	単位	2018年度 基準値(実績)	2024年度 目標値	2024年度 実績	基準年比 増減%	達成度 評価
1	二酸化炭素排出量	kg-02	257029	241607	133841	-47.9	○
2	購入電力量	kwh	245686	230945	147319	-40.0	○
3	灯油	ℓ	2262	2126	1800	-20.4	○
4	A重油	ℓ	43919	41284	18067	-58.9	○
5	ガソリン使用量※	ℓ	4606	4330	3616	-21.5	○
6	軽油	ℓ	3588	3373	2101	-41.4	○
7	廃棄物排出量	kg	15352	14431	3699	-75.9	○
8	水使用量	m ³	4886	4593	2125	-56.5	○
9	グリーン購入	—	購入促進	購入促進	2件購入	—	○
10	環境配慮生産・製品	件	—	2件	2件	—	○
11	有害物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	—	○
12	地域貢献活動	—	積極的参加	積極的参加	活動件数4件	—	○

電気使用量のCO2排出係数は2018年度中部電力の排出係数0.452kg-CO2/kWhを使用する。

廃棄物排出量は一般廃棄物等と産業廃棄物を合計したものである。

今年度環境経営活動の取組

項目	評価と今後の対応
購入電力量	第1工場2階エアコン1台を省エネエアコンにした 受電設備のトランス(75KVA×2台を100KVA×1台にした)高効率トランスに変更し効率を上げ電力の削減につなげた。
A重油使用量	ボイラーを中型から小型にし更新したことにより、稼働状況の使用にあったものになり、重油の削減になった。 熱交換器を新しいものに交換することにより、温度が上がるのが速くなり重油の削減になった。
グリーン購入	コピー用紙、蛍光ペンをグリーン購入しました
環境配慮 製品・生産	特別管理産業廃棄物管理責任者 講習は今年度人数が多く来年度1月20日にうけます。 搬入運搬時の駐車の際後方が見えづらいのでバックモニターを付けた。 表面機能化技術研修を受けた
地域貢献活動	ごみの収取場所の点検 神社のお祭(綿菓子屋出店、町内の子供たちに無料配布) 神社の清掃 秋葉神社の清掃、神事

環境関連法規等の遵守状況の確認及

評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

遵守評価日・評価者2024年9月22日 森島秀保

1.環境関連法規等の取りまとめと遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用対象	放棄・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価
メッキ加工 関連事業者	毒物及び劇物取締法	毒物劇物取扱責任者選任・届出 毒物劇物保管状況・保管量把握	使用量・在庫量管理漏れ 飛散・盗難紛失防止管理	○
	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	廃棄物収集・運搬・処分業者との委託契約、 マニフェストの適用管理 、管理票交付状況の年度報告	産廃業者との契約書、 マニフェストの5年間保管 管理票交付状況報告書	○
	土壤汚染対策法	土地の売買時に土地の汚染状況の調査		○
	PRTR法	特定化学物質の環境への排出量の把握等、 改善促進に関する法律	6価クロムの管理・SDS等	○
	特定工場における公害防止 組織の整備に関する法律	公害防止の管理者の選任	水質関係で選任、 6価クロム・シアン使用	○
	水質汚濁防止法	メッキ排水処理施設の点検・管理	日常の排水管理、処理施 設の点検(1回/月)	○
	消防法	消防整備の整備・点検	設備点検(1回/年)	○
	大気汚染防止法	ボイラーの使用(特定施設には該当しない)	適正運転	○
	騒音・振動規制法 同上特定施設地方条例	空気圧縮機(7.5kW, 3.75kW) 送・排風機(7.5kW, 3.75kW)	特定施設の届出 日常点検、異常事対応	○
事業者全般	自動車リサイクル法	引取業者への引き渡し	リサイクル料金支払い	○
	浄化槽法	浄化槽使用開始届け、保守点検の実施、 浄化槽法定検査	保守点検(4か月に1回) 清掃(年1回) 法定検査(年1回)	○
	アイドリングストップの義務	県条例で実施	教育記録	○
	フロン排出抑制法	簡易点検実施	簡易点検表	○

2 年1回9月に改正状況を確認する

3 違反等有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟等も3年間ありませんでした。

代表者による評価と見直し・指示

「代表者による全体の評価と見直し」の結果

記入者氏名

森島秀保

作成年月日

2024年11月21日

代表者による全体の評価と見直しの指示

全体評価・コメント・指示事項
(環境経営システムの有効性、
環境への取組の適切性等)

電気、重油、ガソリン、薬液など様々なもののコストが上がっていく中
SDGzやカーボンニュートラルなどの活動の要望も強くなっております。
弊社では、基本の無駄な電気を消すこと、使用しなければ消す
無駄なものは取り外す(例:電球)などを基本に
気づいたことを上げ、良ければすぐに実行する活動を進めております。
受電設備では効率の良い回路に変更し高効率トランスへの更新
ボイラーの小型化へ見直し更新、省エネエアコンの更新など活動を進めた
結果、CO2削減が出来ております。今後とも活動を継続して行きます。

見直し項目

変更[有]の場合の指示事項等

1

環境経営方針

有・☒無

2

環境経営目標

有・☒無

3

環境経営計画

有・☒無

4

実施体制

有・☒無